

又日本労働俱樂部ノ創立ガ上カテノ、即チ加盟団体ノ幹部間ノ結合デアリ、下カテノ、即チ組合員大衆ノ結合テナイト云フ非難ニ對シテハ、各加盟団体ハ皆ソレゾレソノ大會又ハコレニ代ルベキ決議機關ニヨツテソノ加盟ヲ承認シタ事實ガ自ラコレニ回答ヲ與ヘルモノデアリマス。

以上ノ敘述ニヨリ日本労働俱樂部ノ創立セル事情及ソノ發展的改組ノ產物トシテノ日本労働組合會議ヲ創立セントスル我等ノ提唱理由ガ充分ニ御理解シテ下サツタ事ト存ジマス。

ユノ理解ノ上ニ立チ、更ニ危機ニアル最近ノ我國労働運動ノ客觀的情勢ヲ御考慮ノ上、一日モ早ク加盟ノ吉報ヲ賜クシ事ヲ切望シテ居リマス。

結成大會ノ都合モアリマスノデ、御回答ハ九月二十日迄ニお願いヒシマス。

日本労働俱樂部活動概況

1 昭和六年六月二十五日創立（神戸海員協會ニ於テ）參加団体ハ日本労働總同盟、全國労働組合同盟、日本労働組合總聯合、日本労働總聯盟、日本造船労働聯盟、官業労働總同盟、海員協會、日本海員組合。

創立準備會ニハ參加シ來リシ海軍労働組合聯盟ハ複雑セル其ノ内部の事情ノ爲メ參加時期ヲ保留シテ今日ニ到ツテキル。

又、東京電氣従業員組合、東京瓦斯工労働組合等ニモ參加ヲ勸誘セルモ全國労働組合組織準備會トノ牽聯關係ニ災ハサレテ遂ニ來ナカツタ。

カクシテ日本労働俱樂部ハ右記八団体ニヨツテ創立サレ、代表委員ニ濱田日本海員組合長ヲ押シ、事務所ヲ神戸日本海員組合内ニ置イタ。

日本労働俱樂部ノ指導精神ハ「健全ナル労働組合主義」ニシテ